



令和6年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月7日

上場会社名 株式会社 テーオーシー
コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷卓男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当 (氏名) 石田雅彦
四半期報告書提出予定日 令和5年11月9日 配当支払開始予定日 令和5年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3494-2111

令和5年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	6,824	15.3	1,239	53.0	1,452	49.2	5,922	189.2
5年3月期第2四半期	8,054	0.1	2,635	10.2	2,860	9.3	2,048	112.9

(注) 包括利益 6年3月期第2四半期 3,625百万円 (24.2%) 5年3月期第2四半期 2,919百万円 (161.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	62.99	
5年3月期第2四半期	21.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第2四半期	119,192	102,625	85.6	1,089.87
5年3月期	116,334	100,406	85.8	1,050.49

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 102,044百万円 5年3月期 99,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		5.00		5.00	10.00
6年3月期		5.00			
6年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	13.9	550		200		4,700	44.3	49.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期2Q	93,849,352 株	5年3月期	95,279,352 株
期末自己株式数	6年3月期2Q	219,929 株	5年3月期	239,781 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期2Q	94,025,723 株	5年3月期2Q	95,027,399 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(令和5年4月1日～令和5年9月30日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、東京都心部では、オフィス出勤率が上昇しオフィス回帰の動きが見られるものの、新規大規模ビルの供給やテレワークの定着化に伴うオフィスの移転縮小などの影響により、入居率、賃料水準は共に下落傾向が継続しております。

また、商業ビルにおきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により個人消費は回復基調にありますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によりエネルギー価格・原材料価格が上昇し、円安進行も相まって物価が高騰するなど、先行き不透明な状態のまま推移しております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,824百万円(前年同四半期比15.3%減)、営業利益は1,239百万円(前年同四半期比53.0%減)、経常利益は1,452百万円(前年同四半期比49.2%減)となりました。また、政策保有株式の縮減方針に基づき保有株式の一部を売却し、投資有価証券売却益7,140百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,922百万円(前年同四半期比189.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、T O Cビルの建替えに向けたテナントの退去などにより、当事業での売上高は5,176百万円(前年同四半期比22.2%減)となり、営業利益は1,259百万円(前年同四半期比54.4%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、主な顧客先であるホテル業界からの受注は、コロナ禍前の水準には至っていないものの回復が継続し、売上高は767百万円(前年同四半期比27.8%増)となり、営業利益は8百万円(前年同四半期は50百万円の営業損失)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連事業では、請負工事の受注減等により、製菓事業では、主力製品の販売減によりそれぞれ減収となりました。また、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業では、コロナ禍前の業績には至っていないものの回復基調にあり、増収となりました。その他での売上高は880百万円(前年同四半期比9.9%増)となり、営業損失は41百万円(前年同四半期は90百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,858百万円増加し119,192百万円となりました。主な増加は現金及び預金が7,466百万円であり、主な減少は有形固定資産が247百万円、投資有価証券が4,449百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ639百万円増加し16,567百万円となりました。主な増加は未払法人税等が2,228百万円であり、主な減少は未払金が315百万円、繰延税金負債が1,146百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,218百万円増加し102,625百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益5,922百万円であり、主な減少は、剰余金の配当475百万円、自己株式の取得946百万円、その他有価証券評価差額金2,309百万円であります。なお、自己株式の消却により、利益剰余金が957百万円、自己株式が957百万円それぞれ減少しております。

自己資本比率は、前連結会計年度末の85.8%から当第2四半期連結会計期間末は85.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ7,409百万円増加し39,062百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,530百万円(前年同四半期比5,387.5%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益8,592百万円及び減価償却費779百万円であり、減少要因として投資有価証券売却益7,140百万円及び法人税等の支払額643百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は7,538百万円(前年同四半期は1,187百万円の資金の支出)となりました。

主な内訳は、増加要因として投資有価証券の売却による収入8,265百万円であり、減少要因として有形固定資産の取得による支出721百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は1,602百万円(前年同四半期比143.1%増)となりました。

主な内訳は、減少要因として長期借入金の返済による支出335百万円、自己株式の取得による支出946百万円、配当金の支払額472百万円であり、前第2四半期連結累計期間との比較では943百万円多い資金の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおける業績予想につきましては、令和5年10月31日発表の予想数値の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,652	39,119
受取手形及び営業未収入金	611	715
商品及び製品	17	20
仕掛品	32	30
原材料及び貯蔵品	196	221
その他	164	142
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	32,667	40,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,195	22,533
機械装置及び運搬具(純額)	329	300
土地	29,974	30,040
建設仮勘定	2,575	2,961
その他(純額)	58	51
有形固定資産合計	56,134	55,886
無形固定資産		
借地権	7,076	7,076
施設利用権	17	17
その他	26	20
無形固定資産合計	7,120	7,114
投資その他の資産		
投資有価証券	19,508	15,059
保険積立金	495	500
繰延税金資産	5	6
その他	401	383
投資その他の資産合計	20,411	15,949
固定資産合計	83,666	78,951
資産合計	116,334	119,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45	24
短期借入金	810	792
1年内返済予定の長期借入金	531	353
未払金	801	486
未払消費税等	62	83
未払法人税等	683	2,911
前受金	583	633
賞与引当金	84	89
その他	1,019	1,112
流動負債合計	4,621	6,489
固定負債		
長期借入金	667	678
長期預り保証金	6,065	6,009
退職給付に係る負債	471	448
資産除去債務	693	693
繰延税金負債	3,145	1,998
その他	264	250
固定負債合計	11,306	10,078
負債合計	15,927	16,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	9,326	9,326
利益剰余金	71,011	75,501
自己株式	△173	△147
株主資本合計	91,932	96,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,905	5,595
その他の包括利益累計額合計	7,905	5,595
非支配株主持分	568	581
純資産合計	100,406	102,625
負債純資産合計	116,334	119,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	8,054	6,824
売上原価	4,592	4,654
売上総利益	3,462	2,170
販売費及び一般管理費	827	931
営業利益	2,635	1,239
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	161	210
助成金収入	28	-
持分法による投資利益	18	9
その他	30	20
営業外収益合計	240	241
営業外費用		
支払利息	8	7
固定資産除却損	0	14
その他	6	6
営業外費用合計	15	28
経常利益	2,860	1,452
特別利益		
投資有価証券売却益	131	7,140
特別利益合計	131	7,140
税金等調整前四半期純利益	2,991	8,592
法人税、住民税及び事業税	171	2,787
法人税等調整額	780	△130
法人税等合計	952	2,657
四半期純利益	2,039	5,935
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,048	5,922

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	2,039	5,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	879	△2,309
その他の包括利益合計	879	△2,309
四半期包括利益	2,919	3,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,927	3,612
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,991	8,592
減価償却費	792	779
投資有価証券売却損益 (△は益)	△131	△7,140
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	△22
受取利息及び受取配当金	△162	△211
支払利息	8	7
持分法による投資損益 (△は益)	△18	△9
固定資産除売却損益 (△は益)	0	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△36	△103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△32	△26
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12	△20
預り保証金の増減額 (△は減少)	△240	△248
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90	21
その他	△309	324
小計	2,755	1,962
利息及び配当金の受取額	169	218
利息の支払額	△8	△7
寄付金の支払額	△1,700	-
法人税等の支払額	△1,188	△643
営業活動によるキャッシュ・フロー	27	1,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25	△25
定期預金の払戻による収入	25	25
有形固定資産の取得による支出	△1,221	△721
有形固定資産の除却による支出	△120	-
無形固定資産の取得による支出	△6	-
投資有価証券の売却による収入	169	8,265
保険積立金の払戻による収入	-	3
保険積立金の積立による支出	△8	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	7,538

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△0	△17
長期借入れによる収入	292	170
長期借入金の返済による支出	△478	△335
自己株式の取得による支出	△0	△946
配当金の支払額	△472	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659	△1,602
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,818	7,466
現金及び現金同等物の期首残高	33,471	31,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,652	39,062

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,652	600	7,253	801	8,054	—	8,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	320	17	338	34	373	△373	—
計	6,973	618	7,591	836	8,427	△373	8,054
セグメント利益又は 損失(△)	2,763	△50	2,713	△90	2,623	11	2,635

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円には、セグメント間取引消去10百万円、減価償却の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,176	767	5,943	880	6,824	—	6,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	315	20	336	35	371	△371	—
計	5,491	788	6,280	916	7,196	△371	6,824
セグメント利益又は 損失(△)	1,259	8	1,268	△41	1,227	12	1,239

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円には、セグメント間取引消去9百万円、減価償却の調整額2百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。